

## 【基本的な考え方】

大規模災害により落ち込んだ観光客の回復に向け、被災地や交通網の復旧状況、災害に関する報道の状況などを参考に、『適切なタイミング』で、

- ①観光地やアクセス状況等に関する正確な情報発信
  - ②観光プロモーションの強化
  - ③旅行需要の喚起対策
- といった対策を、官民が一丸で取り組む。

## 【誘客方針】

### 1. 発災直後から直ちにに取り組む事項

#### (1) 観光面への影響に関する情報収集

対策の必要性を判断するために、被災状況等の情報収集を実施

#### (2) 交通アクセスや県内観光地に関する情報発信

あらゆる媒体を活用し、交通アクセスの状況や県内観光地の被災状況に係る情報を発信

#### (3) 代替交通手段の調整

日頃から、交通事業者と緊密な連携を構築し、被災時に代替交通手段の確保を働きかけ

#### (4) 観光誘客プロモーション(海外向け)

被災した観光地に配慮しつつ、誘客PRを展開

### 2. 被災報道が落ち着いてから取り組む事項

#### (1) 観光誘客プロモーション(国内向け)

既存のイベント等も活用しながら重点PRを展開

#### (2) 旅行需要の喚起対策

即効性のある宿泊企画などの対策を実施

## ＜誘客促進に向けた取組みのイメージ＞

| フェーズ           | 主な災害対応  | 観光誘客のため取り組むこと   |
|----------------|---|---|
| 災害発生直後<br>応急対策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・救出救助活動</li> <li>・帰宅困難者対策</li> <li>・避難所運営</li> <li>・物資等供給</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○被災状況の把握</li> <li>○正確な情報発信</li> <li>○代替交通手段の調整</li> <li>○観光PR(海外)</li> </ul> |
| 復旧対策           |   |   |
| 被災報道が落ち着いた頃    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災箇所復旧</li> <li>・仮設住宅提供</li> <li>・生活再建支援</li> <li>・被災事業者への支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光PR(国内)</li> <li>○旅行需要の喚起対策</li> </ul>                                     |
| 復興段階           |   |   |